

ツキノワグマの目撃及び人身被害の状況

資料 4

長野県林務部鳥獣対策・ジビエ振興室

1 ツキノワグマ里地での目撃情報件数の推移

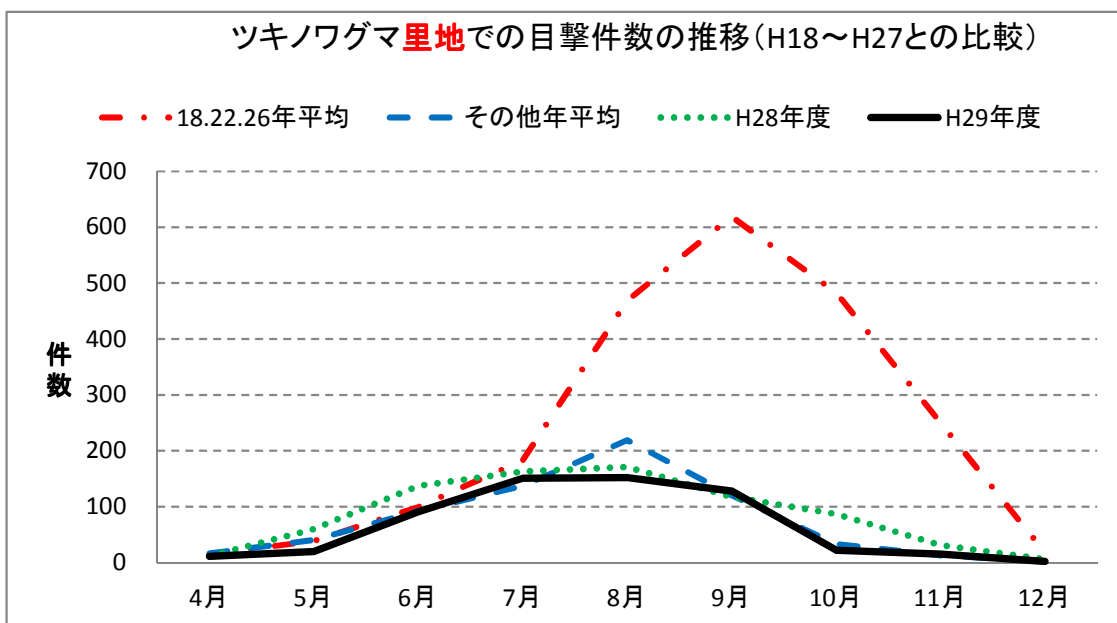
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4-12月累計	人身被害
H18	22	27	108	252	817	909	751	434	42	3,362	6(18)
H19	35	64	83	164	306	137	28	11	0	828	3(3)
H20	12	29	79	131	203	127	46	40	13	680	2(12)
H21	6	25	69	103	156	76	6	2	0	443	5(6)
H22	8	38	112	159	327	535	269	139	4	1,591	4(14)
H23	13	46	115	154	219	96	38	3	0	684	4(7)
H24	8	31	84	176	325	286	89	21	0	1,020	7(7)
H25	14	41	84	89	147	85	12	4	0	476	3(3)
H26	14	52	79	138	263	413	430	177	9	1,575	1(32)
H27	25	47	134	142	177	37	12	8	0	582	6(6)
H28	12	60	137	163	171	118	87	31	6	785	9(9)
H29	11	20	91	151	152	128	22	15	2	592	6(7)

H29年度の人身被害は12月末日現在の数

2 ツキノワグマ里地での目撃件数の推移 (H18~H27との比較)

凡例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4-12月累計	人身被害件(人)
18.22.26年平均	15	39	100	183	469	619	483	250	18	2,176	20.3 (21.3)
その他年平均	16	40	93	137	219	121	33	13	2	673	5.7 (6.3)
H18-H27平均	16	40	95	151	294	270	168	84	7	1,124	10 (10.8)
H28年度	12	60	137	163	171	118	87	31	6	785	9 (9)
H29年度	11	20	91	151	152	128	22	15	2	592	6 (7)

※その他年平均はH19、H20、H21、H23、H24、H25、H27の7年間の平均



クマ対策の主な取組

～従来からの取組を確実に実施～

【クマ対策】

- ・ 誘引しない。
- ・ 侵入させない。
- ・ 隠れ場所や移動経路をなくす。
- ・ それでも被害を出す個体は捕獲する。

○山の実りの状況を把握して
早期にクマの出没を予報

○収穫されないカキなどの
処理(もぎ取り、伐採)

○対策をとっても被害を
出す個体は捕獲

自然公園・観光地

○観光客等への注意喚起、
普及啓発

○集落周辺に近づけ
させないための緩衝帯
整備や耕作放棄地の
刈り払い

○移動経路や隠れ場所になる
河川沿いの樹林の除去等

○クマの生態や出会わ
ないための注意など
正しい知識の普及

○農地等への侵入を
防止する電気柵等
の設置

○家畜用飼料などが
クマを誘引してい
ないか点検

学校

○安全確保のための
やぶなどの刈り払い

○エサとなる廃果など
の除去

耕作地・集落等

通学路等

